

旧東京音楽学校奏楽堂の歴史

旧東京音楽学校奏楽堂は、東京藝術大学音楽学部の前身、東京音楽学校の校舎として、明治23年(1890)に建築され、日本における音楽教育の中心的な役割を担ってきました。

2階の音楽ホールは、かつて瀧廉太郎がピアノを弾き、山田耕筰が歌曲を歌い、三浦環が日本人による初のオペラ公演でデビューを飾った由緒ある舞台です。

創建から80年近く経過した昭和40年代(1965～)に入ると、建物の老朽化が目立つようになり、校舎を都外へ移設する構想が持ち上がりますが、昭和58年(1983)に台東区が東京藝術大学から譲り受けることとなりました。そして、昭和62年(1987)に現在の地へ校舎を移築・復原し、「旧東京音楽学校奏楽堂」として一般への公開を開始しました。さらに、昭和63年(1988)には、日本最古の洋式音楽ホールを擁する校舎として、重要文化財の指定を受けました。

以来、旧東京音楽学校奏楽堂は、「生きた文化財」として、建物の公開のほか、演奏会や音楽資料の展示を行ってきました。

平成25年(2013)4月より保存活用工事のため休館していましたが、平成30年(2018)11月にリニューアルオープンいたしました。令和2年(2020)で、建築130周年を迎えました。

～ 出演 ～

※出演者は変更となる場合があります

六斎念仏意想曲

今藤政太郎 作曲

三味線 A

今藤長龍郎 杵屋勝司郎 中島悠暉 杵屋味見 浅吉 文弥

三味線 B

今藤政十郎 今藤政智 杵屋小三郎 杵屋今藤 松永忠三郎 杵屋政優 広吉

打物

望月彦慶 藤舎清穂 堅田崇 住田福十郎

神仙調舞曲

唯是晨一 作曲

箏

奥田雅楽之一

千鳥と遊ぶ智恵子

初代米川敏子 作曲

歌

成田博之

箏

米川敏子

十七絃

中川敏裕

三つの断章

中能島欣一 作曲

箏

伊藤松超

五人の尺八奏者の為の陰陽句

初代山本邦山 作曲

尺八

二代山本邦山 田辺頌山 安島瑶山 舛田路山 菊地河山

秋篠寺

中田博之 作曲

歌

萩岡松韻

箏

鈴木厚一

尺八

青木鈴慕

螺旋

北爪道夫 作曲

三絃

本條秀英二

箏三重奏曲一番

小野衛 作曲

1 箏

小野正志

2 箏

高橋てるみ

十七絃

多田ことえ

お客様へのお願い

- ・当日37.5度以上の発熱や咳、のどの痛みなど風邪のような症状のある方はご入館をお断りいたします。
 - ・敷地内ではマスクの着用をお願いします。コンサート中もマスクを着用したままでご鑑賞ください。
 - ・館内では、お客様同士の距離を適切に保ち、会話を控えていただき、密接・密集を避けてください。
 - ・入館時に手指の消毒、検温、受付票の記入・提出にご協力ください。
- 当館ホームページで受付票を予めダウンロードして、当日ご記入いただいたものをお持ちいただくと、スムーズにお入りいただけます。
- ・その他、諸注意について、当館のホームページでご確認ください。

